

持ち帰り可

令和 7 年度 山口県立大学 別科助産専攻

一般選抜

入学試験「専門科目」問題

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

注意事項

- 1 解答は全て解答用紙に記入してください。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 3 不正行為について
 - ① 不正行為については厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

令和7年度 山口県立大学 別科助産専攻
一般選抜 入学試験「専門科目」

問題1 次の文章のうち正しいものには○を、誤っているものには×を記入しなさい。

1. 女性を中心としたケア (women-centered care:WCC) は、「尊重」「安全」「アトミック」「パートナーシップ」の4つの特徴がある。
2. 愛着研究の第一人者である児童精神科医のボウルビィ (Bowlby) は、愛着 (アタッチメント attachment) とは、「子どもが多数の人物に対し強い結びつきを形成する人間の傾向」と定義している。
3. 生後28日以内 (里帰りの場合は60日以内) の新生児に助産師や保健師が自宅を訪問し、新生児の発育状態や親の育児状況を確認することを目的とした新生児訪問指導は、児童福祉法で定められている。
4. プレコンセプションケアとは、将来の妊娠のための健康管理を提供することであり、「思春期以降から生殖可能年齢にあるすべての人々の身体的、心理的および社会的な健康の保持および増進」を目的として行われている。
5. 月経周期が順調な女性の場合、最終月経の初日を0日とすると分娩予定日は280日目である。
6. 妊娠中の母体は血液凝固因子が増加している。
7. 前置胎盤から出血する場合、子宮内出血を起こすため注意が必要である。
8. 遺伝性疾患において男児に発症頻度の高い遺伝形式は伴性潜性遺伝 (劣性遺伝) である。
9. 低出生体重児は成熟児と比較すると体重当たりの体表面積が小さい。
10. 乳歯が最初に生え始めるのは切歯からである。

問題2 以下の各項目の文章は、母乳における初乳または成乳についての特徴が記述されている。1～6の各々の内容がどちらの特徴を示しているのか、解答欄に「初乳」または「成乳」と記載しなさい。

1. 粘稠度が低い。
2. 蛋白質を多く含む。
3. 乳糖が多い。
4. 100 mLあたりのエネルギー量が高い。
5. ミネラル分を多く含む。
6. IgAの含有量が多い。

問題3 以下は妊婦の推奨体重増加量についての文章である。①～⑤に当てはまる適切な数字を記入しなさい。

妊娠全期間を通しての妊婦の推奨体重増加量は、日本肥満学会の判定基準に従い、非妊時の体重 BMI (①) 未満を「やせ」、BMI (①) 以上 (②) 未満を「ふつう」、BMI (②) 以上 (③) 未満を「肥満(1度)」、(③) 以上を「肥満(2度)」とし、「ふつう」の妊婦の推奨体重増加量は (④) ～ (⑤) kg である。

問題4 以下は子供の成長についての文章である。①～⑤に当てはまる適切な語句または数字を記入しなさい。

- ・新生児は頭蓋骨の縫合が完成されていない。前部には (①) 骨と頭頂骨で囲まれたひし形の (②) があり、生後1歳半ごろまでには閉鎖する。また、後部には (③) 骨と頭頂骨で囲まれた部分の (④) があり、生後3～4ヵ月ごろまでには閉鎖する。
- ・乳歯は生後6～8ヵ月ごろからはえはじめ、2～3歳で計 (⑤) 本がはえそろう。

問題5 日本の令和4年(2022年)における合計特殊出生率はどれか選びなさい。

1. 0.96
2. 1.26
3. 1.56
4. 2.36

問題6 性感染症(STD)について正しいのはどれか選びなさい。

1. 10代では性器ヘルペスの罹患が最も多い。
2. 経口避妊薬の内服が予防に有効である。
3. 性器クラミジア感染症の罹患は不妊症の危険因子である。
4. 患者のパートナーは治療の対象ではない。

問題7 クラウス, M. H. とケネル, J. H. が提唱した母子相互作用について正しいのはどれか
選びなさい。

1. 遺伝的な親子関係を基盤として発生する。
2. 分娩を契機として形成が始まる。
3. 依存関係の1つとしてとらえられる。
4. 愛着行動によって促進される。

問題8 5 %のA消毒液を用いて0.2 %希釈液2,000 mLをつくるのに必要な薬液量を
求めなさい。ただし、小数点以下の数値が得られた場合には、小数点以下第1位
を四捨五入すること。

問題9 思春期に分泌が増加するホルモンはどれか選びなさい。

1. グルカゴン
2. アンドロゲン
3. カルシトニン
4. オキシトシン

問題10 下垂体ホルモンの分泌低下により生じるのはどれか。2つ選びなさい。

1. 低身長症 (short stature)
2. 性早熟症 (sexual precocity)
3. 先端巨大症 (acromegaly)
4. Cushing 〈クッシング〉症候群 (Cushing syndrome)
5. Sheehan 〈シーハン〉症候群 (Sheehan syndrome)

問題11 閉経に近づくと上昇するホルモンはどれか。2つ選びなさい。

1. エストロゲン
2. 黄体形成ホルモン〈LH〉
3. 卵胞刺激ホルモン〈FSH〉
4. プロラクチン
5. プロゲステロン

問題 12 母子保健法に定められているのはどれか。2 つ選びなさい。

1. 食育等推進事業
2. 乳児家庭全戸訪問事業
3. 養育医療の給付
4. 新生児聴覚検査
5. 妊婦健康診査

問題 13 妊娠期の不快症状と予防の組合せで適切なものはどれか。2 つ選びなさい。

1. つわり ————— においの強い食事の摂取
2. 腰痛 ————— 硬めのマットレス使用
3. 便秘 ————— 緩下薬の服用
4. 下肢のけいれん ————— 葉酸の摂取

問題 14 不妊症について正しいのはどれか。2 つ選びなさい。

1. 令和 4 年より 43 歳未満の女性の不妊治療には、治療開始時より保険適用される。
2. 検査に基礎体温測定がある。
3. 6 ヶ月間避妊せずに性交渉があっても妊娠しない状態である。
4. 男性側の原因は 7 割程度である。
5. 頻度は妊娠を希望し避妊しないカップル 10 組に 3 組である。

次の文を読み、問題 15、問題 16 の問いに答えなさい。

A さん (28 歳、初産婦、正規雇用の事務職) は、妊娠 26 週 2 日である。A さんは、身長 158 cm、体重 58 kg (非妊時体重 53 kg) で 2 週前から 0.5 kg 増加している。血圧 128/80 mmHg。尿蛋白 (-)、尿糖 (±)。下肢に軽度の浮腫を認める。血液検査データは、Hb 11.2 g/dl、Ht 34 %、空腹時血糖 80 mg/dl であった。

問題 15 妊婦健康診査後、A さんは「まだ何回も健診に来ないといけないのに、有給休暇の残りが少なくなっていました。どうすればよいでしょう」と看護師に聞いてきた。

A さんへの説明で最も適切なものはどれか。2 つ選びなさい。

1. 「勤務先に請求すれば、勤務時間を短縮できます」
2. 「妊婦健診の回数を最小限とするように医師に相談しましょう」
3. 「勤務先に申し出れば、勤務時間内に妊婦健診に来られますよ」
4. 「すぐに産前休暇の届出をしましょう」

問題 16 妊娠 34 週 0 日。体重 61 kg。血圧 120/76 mmHg。尿蛋白 (-)、尿糖 (-)。下肢に軽度の浮腫を認める。その他は特に異常はない。Aさんは「膝の裏の血管が膨らんで青く浮き出ています。夕方になると足がとてもだるくなります」と言う。

Aさんへの指導で適切なのはどれか選びなさい。

1. 終日安静臥床で過ごす。
2. 弾性ストッキングを着用する。
3. 下肢に冷罨法を行う。
4. 体重を増加させない。

問題 17 分娩時に分泌が亢進し、子宮筋を収縮させるホルモンはどれか選びなさい。

1. プロゲステロン
2. エストロゲン
3. バソプレシン
4. オキシトシン

問題 18 Aさん(31歳、初産婦)は、妊娠 39 週 3 日に 3,100 g の女児を正常分娩した。
分娩経過は以下のとおりである。Aさんの分娩所要時間を求めなさい。

午前 0 時 40 分 陣痛周期 10 分
午前 2 時 00 分 入院
午後 4 時 00 分 破水
午後 6 時 50 分 子宮口全開大
午後 8 時 05 分 3,100 g の女児を経膣分娩
午後 8 時 15 分 胎盤娩出
午後 8 時 40 分 会陰切開部の縫合が終了、分娩時の出血量は 280 mL
午後 10 時 15 分 Aさんの体温 36.8 °C、脈拍 80/分、血圧 120/66 mmHg
午後 10 時 25 分 分娩室を退室

問題 19 正常の分娩経過で正しいのはどれか選びなさい。

1. 分娩開始は、陣痛が 15 分間隔に起こった時点とする。
2. 発露は、胎児先進部が陰裂間に常に見えている状態である。
3. 分娩第 2 期は、破水から胎児が娩出するまでの期間である。
4. 分娩第 4 期は、胎盤娩出から会陰縫合術の終了までの期間である。

問題 20 正常な胎児の分娩機転について正しいのはどれか選びなさい。

1. 分娩開始時、胎児の背中は母体の背側にある。
2. 後頭部が先進する。
3. 胎児の顔は母体の腹側を向いて娩出される。
4. 肩甲横径が骨盤の横径に一致する方向で娩出される。

問題 21 微弱陣痛の原因となるのはどれか選びなさい。

1. 子宮内感染
2. 前期破水
3. 羊水過多
4. 胎児発育不全 (FGR)
5. 頸管無力症

次の文を読み、問題 22、問題 23 の問いに答えなさい。

Aさん(28歳、初産婦)は、妊娠39週5日の午前4時に、陣痛間欠10分、陣痛発作10秒となり入院した。入院時の内診所見は子宮口1cm開大で、未破水であった。

問題 22 午後1時に子宮口が4cmまで開大し、破水した。このときの胎児心拍数陣痛図(別冊)を別に示す。胎児心拍数陣痛図の情報で正しいのはどれか選びなさい。

1. 母体脈拍数 50/分
2. 胎児心拍数基線 150～160 bpm
3. 陣痛発作 10 秒
4. 陣痛間欠 4 分

問題 23 このとき、Aさんは陣痛のたびに緊張して身体を固くし、痛みがないときは眠そうにしている。昼食は、プリン1個とスポーツ飲料(250 mL)をとっている。Aさんは「赤ちゃんは、なかなか生まれないですね」と疲れた表情で看護師に話す。

このときのAさんへの対応として適切なのはどれか選びなさい。

1. 「眠いときは眠るようにしましょう」
2. 「階段の昇り降りをしましょう」
3. 「昼食はできるだけ全部食べましょう」
4. 「陣痛に合わせていきんでみましょう」

問題 24 Aさん(32歳、初産婦)は、初回授乳指導時「初めて授乳をするので、どのようにしたらよいかわかりません」と話された。正常新生児の良好な吸啜状態をAさんに指導するうえで正しい説明はどれか。2つ選びなさい。

1. 児の頬にくぼみがみられる。
2. 児の耳、肩、腰のラインが一直線である。
3. 速いテンポで吸啜している。
4. 吸啜時に舌の音が聞こえない。
5. 児の下唇は内側に巻き込まれている。

問題 25 乳汁分泌を抑制するのはどれか。2つ選びなさい。

1. 温罨法
2. 頻回の授乳
3. 乳汁うっ滞
4. 休養
5. 脱水

次の文を読み、問題 26、問題 27、問題 28 の問いに答えなさい。

Aさん(37歳、初産婦、会社員)は、妊娠41週1日の午後11時に3,200gの女児を分娩した。妊娠や分娩の経過は順調であり、会陰切開術を受けた。分娩後2時間の子宮底の高さは臍下2横指、縫合部に異常はみられなかった。

問題 26 産褥1日午前5時、赤色悪露が少量みられた。子宮底の高さは臍上1横指で、膀胱部に軽度の膨満を触知したため、トイレでの排尿を促した。しかし、Aさんは「切開した傷が痛くて、排尿しようとしても出ません。どうしましょう」と看護師に相談してきた。

Aさんへの看護師の対応で最も適切なのはどれか選びなさい。

1. 「水分をとらないようにしてください」
2. 「尿を管で取りましょう」
3. 「腹部を温めてみましょう」
4. 「授乳を試みましょう」

問題 27 産褥 3 日。Aさんは「退院後は避妊する予定です。母乳は1年以上続けたいと思います」と話している。

看護師の説明で適切なのはどれか選びなさい。

1. 授乳期間中の避妊は必要ない。
2. 産後 1 ヶ月から経口避妊薬を使用する。
3. 産後 2 週に IUD〈子宮内避妊具〉を挿入してもらうよう勧める。
4. 性生活を再開するときからコンドームを使用する。

問題 28 産褥 5 日。Aさんは「出産前は、職場に復帰しようと思っていましたが、今は仕事と育児とを両立できるか心配です。いろいろな制度があるとは聞いていますが、どのようなことができるのでしょうか」と看護師に相談した。

Aさんへの説明で正しいのはどれか選びなさい。

1. 「退院直後から、お子さんを保育所に預けることができます」
2. 「お子さんが満 2 歳になるまで育児休業をとれます」
3. 「職場でお乳を搾る時間を 1 日 4 回とれます」
4. 「夫が育児休業をとることもできます」

問題 29 産後うつ病について正しいのはどれか選びなさい。

1. 一過性に涙もろくなる。
2. 産後 10 日ころまでに発症することが多い。
3. スクリーニング調査票がある。
4. 日本における発症頻度は約 40%である。

問題 30 二分脊椎の子どもに特徴的な症状はどれか選びなさい。

1. 言語発達の遅延
2. 上半身の運動障害
3. 排泄障害
4. 体重増加不良

問題 31 正常分娩で出生した 2,900 g の新生児。1 時間後のバイタルサインは、皮膚温 35.8 ℃、直腸温 36.5 ℃、呼吸数 40/分、心拍数 170/分であった。対応で適切なのはどれか選びなさい。

1. 室温を 24 ℃に設定する。
2. 閉鎖式保育器を 37 ℃に設定する。
3. 温めたりネンで覆う。
4. 次回のバイタルサインの測定は 2 時間後とする。

次の文を読み、問題 32、問題 33 の問いに答えなさい。

A ちゃんは、在胎 37 週 0 日に正常分娩で体重 3,200 g で出生した。A ちゃんの Apgar 〈アップガー〉スコアは 1 分後 9 点、5 分後 10 点であった。出生時は、体温 37.1 ℃、呼吸数 42/分、心拍数 154/分であり、頭部に産瘤があった。A ちゃんの両親の血液型は B 型 Rh (+) である。

問題 32 生後 3 日。A ちゃんは母乳をよく飲み、体重 3,050 g、体温 37.2 ℃、呼吸数 34/分、心拍数 136/分である。昨日は排尿 6 回、排便 4 回であった。A ちゃんの母親は、A ちゃんの顔の黄染を心配している。A ちゃんの血液検査データは血清総ビリルビン 13 mg/dl である。

A ちゃんの母親への説明で適切なのはどれか選びなさい。

1. 「頭のこぶで黄疸が強くなります」
2. 「早発性の黄疸です」
3. 「生理的な黄疸です」
4. 「光線療法を受けると思います」

問題 33 生後 5 日。午前 9 時に沐浴が行われた。A ちゃんは、体重 3,210 g、体温 36.9 ℃、呼吸数 36/分、心拍数 138/分である。昨日は排尿 7 回、排便 5 回であった。眼脂は認めない。午前 11 時に母児ともに退院予定である。

退院前の A ちゃんへの処置で優先度が高いのはどれか選びなさい。

1. 抗菌薬の点眼
2. ビタミン K₂ シロップの与薬
3. 殿部の清拭
4. 哺乳量の測定

持ち帰り可

令和7年度 山口県立大学 別科助産専攻

一般選抜

入学試験「専門科目」問題

別冊

試験開始の指示があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。

注意事項

- 1 解答は全て解答用紙に記入してください。
- 2 試験中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を高く挙げて監督者に知らせてください。
- 3 不正行為について
 - ① 不正行為については厳正に対処します。
 - ② 不正行為に見えるような行為が見受けられた場合は、監督者が注意します。
 - ③ 不正行為を行った場合は、その時点で受験をとりやめさせ退室させます。
- 4 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください。

問題22

